

平成 31 年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理 B	単位数	3 単位	年次	2 年次
使用教科書	「新詳地理 B」 (帝国書院) / 「新詳高等地図」 (帝国書院)						
副教材等	「新詳地理資料 COMPLETE 2019」 (帝国出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・2年生で学習した基礎の上にたち、3年生では主として地誌的な手法によって人間活動の様子を理解していくため、2年次での土台作りにはしっかりと取り組んでほしい。
- ・地理では、気候や植物、地形など日々の生活と大きく関わってくる。日々の授業内容を理解するとともに、自分の実体験や周囲の環境にも目を向けて授業内容と結び付けてほしい。
- ・知らない地名が出てきた際には、地図帳を使って確認する習慣をつけてほしい。

2 学習の到達目標

- ・現代世界の地理的事象を系統地理的に考察する。
- ・現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察する。
- ・現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 資料活用の技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、国際社会に生きる日本国民としての責任を果たそうとする。	現代世界の地理的事象から課題を見だし、それを系統地理的に考察したり、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察したりし、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に判断している。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている	現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身につけている。
評 価 方 法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 小テスト
		〔主題学習〕 グループでの発表内容	〔主題学習〕 ポスター作成	

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学期	地理情報と地図	<ul style="list-style-type: none"> ・世界観の変化と地図 ・地球儀と世界地図 ・地理情報の地図化 	○	○	○	○	<p>a: 様々な時代の世界地図から、各時代の人々が持っていた世界観に対する関心高め、意欲的に比較考察しようとしている。</p> <p>b: それぞれの図法の特徴を見だし、多面的・多角的に考察し、その差異や用法を適切に理解し表現できる。</p> <p>c: 様々な主題図を考察し、有用な情報を選択して、読み取り活用できる。</p> <p>d: 主題図など多様な種類の地図のそれぞれの特徴についての基本的な事柄や表現法を理解し、その知識を身につけている。</p>	定期テスト 小テスト
	地図の活用と地域調査	<ul style="list-style-type: none"> ・地図の活用 ・身近な地域の調査 	○	○	○	○	<p>a: 地図に対する関心と課題意識を高め、効果的な地図の使用について意欲的に取り組んでいる。</p> <p>b: 自分の生活圏の地理的事象を見だし、系統地理的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 地図を使って地域に関する諸資料を収集し有用な情報を選択して、読み取り整理することができる。</p> <p>d: 地形図について、地図記号や縮尺、等高線などの基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。</p>	
	自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の地形 		○			<p>b: 世界各地で見られる地形や、自然災害について、多面的・多角的に考察し、その形成過程や結果および人間の土地利用を正確に理解している。</p>	

2 学期	自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の気候 ・日本の自然の特徴と人々の生活 ・環境問題 	○	○	○	<p>a:世界各地の自然環境に適応した生活および地球温暖化や森林破壊などに対する関心と課題意識を高め、解決策を意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b:世界の地形や気候に関する諸事象と、その分布や人間生活とのかかわりについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果としての人間生活の実際を比較考察できる。</p> <p>c:有用な情報を選択し読み取り、分布図や地域区分図を作成する等図表にまとめることができる。雨温図、ハイサーグラフなど地理特有のグラフを読み取り作成できる。</p> <p>d:気候要素や気候因子など気候の仕組みについての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p>	定期テスト 小テスト ポスター
	資源と産業	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の水産業 ・食糧問題 ・世界のエネルギー、鉱産資源 ・資源エネルギー問題 	○		○	<p>a:世界と日本の農林水産業の特色に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究しようとしている。</p> <p>d:世界の主な資源の分布についての基本的な事柄や探究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p>	
3 学期	資源と産業	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の工業 ・第3次産業 ・世界を結ぶ交通・通信 ・現代世界の貿易と経済圏 		○	○	<p>b:世界の主な工業の分布やその要因を多面的・多角的に理解し、その過程や結果を客観的に考察できる。</p> <p>c:鉱産資源の分布や、消費に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取ったり、図表にまとめたりしている。</p>	定期テスト 小テスト

	人口、 村落・都市	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の人口 ・人口問題 ・村落と都市 ・都市・居住問題 	○	○	○	○	<p>a:世界各地で見られる都市について、先進国と後発国の比較、それぞれの都市問題に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b:現代世界に見られる人口の不均衡な分布や年齢構成の不均衡、都市化の進展に関する事象を多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に理解している。</p> <p>c:人口ピラミッドの読み取りや、作成を行うことができる。</p> <p>d:世界各地で見られる都市とその形成過程について、歴史的背景を含め基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p>
--	--------------	---	---	---	---	---	--

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c: 資料活用の技能 d:知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。